

第38回 向日市上下水道事業懇談会 議事録

日時：令和5年1月17日(火) 午前10時から正午まで
場所：向日市役所 第7会議室(3階)
出席者：(委員)宇津崎委員他7名(2名欠席)
(事務局)上下水道部長他9名
傍聴：1名

1 市長あいさつ

2 内容

【令和3年度水道事業会計決算及び主要事業について】

事務局説明(主なもの)

- ・決算書及び事業実施箇所図等を用いて説明

○質疑

委員 決算書15ページに京都市からの受水費とあるが、これは何か、また場所はどこか。

経営戦略の進捗状況について、耐震適合率が低い理由がよくわからない。どうして低い数値になっているか。

事務局 決算書に京都市からの受水費として、37万円余りを計上している。場所は向日市の南東、国道171号線より東の数世帯で、本市から国道を越えて給水することが難しく、京都市から給水してもらう方が費用が少なく済むため、そのようにしている。

事務局 基幹管路の耐震適合率については、本市は平成27年度から基幹管路の更新を本格的に実施し始めたが、住宅地など工事が思うように進まないことがある。今後、令和9年度の目標50%に向けて直線区間で効率よく工事が進められる箇所を選定して進めていく。

委員 直線区間を工事することは、あまり重要ではない箇所を工事して耐震適合率の向上だけを目指したのになってしまわないか。

事務局 基幹管路は、管路網の中でも骨格をなすものであり、市内をぐるりと巡っているものでどの部分でも同じように重要なものである。

委員 耐震化の進捗報告だが、年度ごとに計画している進捗率が異なってくるだろう。年度毎の計画に対して実績がどうだったかについても報告してもらいたい。

【令和3年度下水道事業特別会計決算及び主要事業について】

事務局説明(主なもの)

- ・決算書及び事業実施箇所図等を用いて説明

○質疑

委員 テレビカメラ調査の優先順位はどのようにつけているか。傷んでいそうなところに検討をつけるのか、古いものを優先するのか。

事務局 基本的には古いものを先に調査している。

- 会長 調査してみて支障のある管はあるか。
事務局 今のところ特にひどいものは無い。
- 委員 下水道に関しては耐震の問題はないか。
事務局 初期に使用していたコンクリート管に関しては今後取り替えなければならないが、プラスチックのVP管やVU管は耐震性のあるものなので、問題は無い。
- 会長 大都市では道路の下の下水管に穴が開き、土砂が流れ込んで道路が陥没するといった事故が見られるが、向日市ではどうか。
事務局 向日市では事例は無い。また、そういうところがないかパトロールをしている。
- 会長 下水道普及率100%に対して水洗化率は99.1%ということだが、政令市には100%にするために助成金を出す例がある。向日市もそういった取り組みが必要ではないか。
事務局 市の取り組みについては、毎年10月ごろに浄化槽、汲み取り式のご家庭に啓発を行っている。
委員 対象は二つあって、一つは汲み取り式トイレ、もう一つは単独浄化槽。汲み取り式の家庭には下水道法上所有者に義務を課していることを説明する。
一方、浄化槽は汚水処理を済ませているので、水洗化は任意の話になってくるが、衛生面から付近の住民も含めて積極的にやらないといけない。
単に啓発だけではなく、手間暇がかかってくるが水洗化率100%を目指すなら何かをやらざるを得ないのかもしれない。
- 会長 向日市としてどのような方針か。やろうという方針か、できればいいな、なのか、それによって方針が違う。
事務局 職員が対象の建物を回り確認していると、古い借家が多く、トイレだけを改修というのは難しく、なかなかすぐに解決できる問題ではないと思っている。しかし、下水道の整備ができていますので、取り組んでいかななくてはいけない課題だという認識はある。
- 委員 雨水貯留タンクについて、年間で設置が15基というのは少なく感じるが、なぜ向日市では普及しないのか。
事務局 現在はホームページ、広報誌での周知のほか、地元にも説明に回っている。今後広報の回数を増やすなど考えていきたい。
- 委員 広報誌だけではなかなか進まないのではないか。もう少し工夫を。
委員 一つ言えるのは、ほとんどの方は雨水タンクについて知らない。行政側が積極的にイベント等で少しでも多くの人に知らせるという努力が必要ではないか。
委員 市のピカッと光る取り組みの一つが雨水タンクではないか。事務局は大変だと思うが、普及率向上の取り組みを続けてほしい。
- 事務局 昨年度は、幸い大雨が少なかったが、それもあつてか設置件数が伸び悩んだ。今後はタイミングも考えて広報の機会を増やしていきたい。
- 会長 災害時の生活用水としても使えるし、設置が増えるのは望ましいことだ。下水道事業の経営戦略と絡めて議論してもいいのではないか。検討いただきたい。

【上下水道料金の基本料金減免】

事務局説明

- ・資料を用いて説明

○質疑

会長 水道は口径によって料金が違うが、下水道は変わらない。どうしてか。

事務局 汚水については浄化センターで処理する量に対して使用料が設定されているので、水道の口径に関わらず一律になっている。

【和井川1号幹線築造工事】

事務局説明

- ・資料を用いて説明

○質疑

会長 和井川1号幹線はもう稼働しているか。

事務局 稼働している。

【水道ビジョン及び上下水道事業経営戦略の改定】

事務局説明

- ・資料を用いて説明

○質疑 なし

【全体を通じて】

○質疑

委員 水道水の安全性はどのように担保されているか。また、水道水の安全性について市民の方はあまりご存じないようだ。広報されてはどうか。

事務局 定期的に法定の検査を行っていることに加えて、自主検査項目を設けて検査している。結果については広報誌に掲載するには細かすぎるので、水道事業年報としてまとめてホームページに掲載している。